



市長選挙について

問 1月19日の市長選挙の投票率は、全体で63・82%だが、市外避難有権者で16・7%、仮設などを含む市内有権者投票率は約75%と、高い数値であった。これは市民の復興への期待が、大きいものと認識する。その中で市長が、有効投票の過半数の1万7千123票を得たことは、市民が一期4年間の市政執行を承認し、今後4年間の舵取りを委託したという意味がある。復興に向け二期目の覚悟を伺う。

答 大震災と東京電力福島第一原子力発電所事故によって南相馬市と市民が蒙った被害は甚大である。私の使命は、復興はもちろんだが、新しい南相馬を作

子どもたちの内部被曝の安全性は

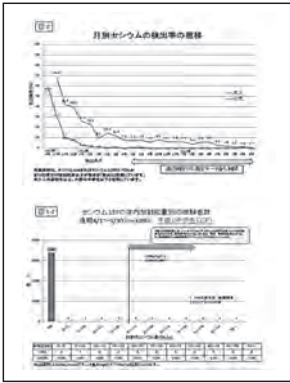
小川尚一 議員

り上げることであり、その責任は重く、必ずこの南相馬市の復興をお誓いし、実現に向けて誠心誠意取り組み。

放射線の子どもたちへの安全性について

問 南相馬市でのホルボディカカウンターによる被曝検診結果第5号によると、市内の子ども3千390人中放射線が検出されたのは1人だが、安全性の確保について見解を伺う。

答 この1人も再検査では検出されず、内部被曝について、市としても安全性は確保され



WBC 検診結果(南相馬市HPより)

質問を終えて

受次ぎて 国の司の
身となれば 忘るまじきは
民の父母
(上杉鷹山公の歌)

その他の質問

- 1 除染物質の減容化と焼却施設建設は
- 2 義務教育に介護活動を取り入れる考えは
- 3 障がい者ともにある復興とは



鈴木貞正 議員

食育を通じ望ましい食生活習慣を

問 食生活と健康づくりは、代理のきかない行為であり、知育、体育と併せて食育は健やかな心身の育成に不可欠なものである。食環境の乱れが指摘されている現在、子供が望ましい食生活を学習できる場を設け、食事に関する自己管理能力を高める教育方針を伺う。

答 食育につきましては、発達段階に応じて学級活動の時間等で指導をしている。また震災後は、放射線教育とも関連させながら、食の安全、安心について理解を図っている。

問 食生活と健康づくりは、代理のきかない行為であり、知育、体育と併せて食育は健やかな心身の育成に不可欠なものである。食環境の乱れが指摘されている現在、子供が望ましい食生活を学習できる場を設け、食事に関する自己管理能力を高める教育方針を伺う。

答 食育につきましては、発達段階に応じて学級活動の時間等で指導をしている。また震災後は、放射線教育とも関連させながら、食の安全、安心について理解を図っている。



鹿島幼稚園 (給食のようす)

質問を終えて

知、得、体 子供が社会人として真つ当な人生を歩むことができるように。

その他の質問

- 1 原発事故による賠償問題は
- 2 一本松周辺の環境整備問題は
- 3 地域協議会のあり方は

脱原発市長の

政治姿勢



大山弘一 議員

問 市長は、12月議会で「緊急時避難準備区域の国の指示は、子供は住むなどというのではなく、避難した子供に戻るとある。」と言ったが、間違った解釈ではないか。

答 子ども、妊婦、要介護者、入院患者等に区域内に入らないよう求められた。

問 官邸の説明は「引き続き住民に自主避難を求め、特に子供、妊婦、要介護者、入院患者の方などは、この区域に入らないことを引き続き求める。」とあり、入院患者は区域外に出された。政府は、3月25日以降ずっと20km〜30km圏内に自主避難を求めており、子供が住んでいいとは解釈できない。放射線に何の知見もない市長が、政府指示に従わずに子



ルグニ高校の生徒たち（ウクライナ・ナロチチ地区）

供たちが、原発から放出されていた放射性ヨウ素被曝を受けた可能性がある。

答 さも内閣の指示に従わなかったことだけをとりざたす質問には答えない。

問 除染しない山林を背負う市は、チェルノブイリの汚染地を視察し、将来を見据えるべき。

答 現在、復興に市を挙げて取り組んでいて訪問予定はない。

質問を終えて
市が「年20、5年で100mSvが基本」と言ってしまった。「安全→安心→復興」なのに!?

- その他の質問
- 1 被曝者にヨウ素剤を与えなかった理由は市の見解は
 - 2 白血球減少に対する市の見解は
 - 3 放射線管理区域の子供居住の考えは

問 先進事例視察をせず、市民の命を語れない。そもそも、これから健康被害が起きないと考えているのか。

答 行った結果、復興や放射線の不安が全て払拭できるとも思わない。



田中一正 議員

問 2月9日の豪雪の時、急病人が出て救急車が現場に向かったが積雪のため入れず、ポンプ車の応援を受けたと聞いた。豪雪対策について何う。

答 大雪警報発令に伴い、被害状況把握や除雪を中心に対応した。2月10日に災害対策本部会議を開催した。

問 前日から降り続いた雪のため、9日の朝、大雪で身動きがとれなかった。他の道路はどうなのかと思っいたら、多数の市民から苦情の電話があった。夕方に近くの幹線道路がようやく掃かれたが対応はどうだったのか。

答 今回の大雪に関しては1回で掃けるところが3回かかっている。そういった状況から除雪が遅れてしまっ

本市の除雪体制の

実情は

問 除雪に係る予算措置は十分なのか。

答 委託業者へ除雪機械拘束料として1社当たり30日分計17社分を計上している。

問 市道だけではなく県道とかけ持ちで請け負っている業者もいると聞く。効率よく除雪するために依頼の仕方についてどう考えるか。

答 国道、県道、市道一元的な除雪体制がとれるような配分で、市内を分割しながら配備配置体制をとっている。

問 500件に上る苦情の電話があったそうだが、市民の生命財産を守るために今後はもっとしっかりした対策を立てて頂きたいが。

答 多くの要望等を踏まえて今後は除雪の体制を万全にして行く。

質問を終えて
突然の大雪に対応が間に合わなくなった。自然災害に油断は禁物、備えあれば憂いなし。

- その他の質問
- 1 地域コミュニティのあり方は
 - 2 青少年の体力づくりを
 - 3 高齢化対策は



市道の自主的除雪（原町区牛来）

一般質問